

町営牧野の草地更新

問 町営牧野について、平成16年頃から草地更新がなされていなく、計画的なものもないと思います。草地更新について伺います。

答 平成14年から16年の3ヶ年事業で更新した以降、大きな更新は行っていませんが、単年度毎に牧場会計の中で実施しています。水上は草地も悪くなってきていますので、補助事業の採択は厳しい状況にはありますが、今後、指定管理者のJ Aと協議しながら取り組んでいきたいと考えています。

再問 今現在、3牧野で465ヘクタールの放牧地があります。その内、草地更新の対象は240ヘクタールとおさえています。今、J Aと協議しているのは、草地更新事業は公社営事業しかないのですが、その事業を使うべきかどうか、その辺も含めて協議していませんが、計画的に実施していかないと牛の放牧にも影響が出ますので、今後、協議は進めていきたいと考えています。

再問

草地更新は計画をもって行う必要があると思います。前年も他の議員さんが草地更新について聞いていましたが、その時には、町長から今の3牧野で良いのかどうか、実施団体の農協とも協議しなければいけないという話だったと思いますので、その後の経過についても伺います。

答 平成20年9月よりドクターヘリの運行を開始していますが、今回加入した経過について伺います。また、救急搬送体制について、1市4町で協議をし、各自治体で1次救急を経てから2次救急にということですが、その経過について伺います。

ドクターヘリ
救急搬送体制

問 平成20年9月よりドクターヘリの運行を開始していますが、今回加入した経過について伺います。

答 ドクターヘリについては、当初、釧路、根室管内をエリアとし運行が開始されました。現在、オホーツク管内では遠紋地区が旭川のエリアに入っており、北網地区がドクターヘリのエリアとなっていない状況です。そのような状況から、2市8町で協議し、釧路エリアに入れてもらうということになりました。

再問 ドクターヘリが100キロ圏内を飛ぶのに30分かかると言われています。ドクターヘリが到着する時間と北見まで搬送する時間で1時間程度かと思いますが、救急体制で北見まで搬送しても1時間くらいかと思えます。

再問 ドクターヘリが100キロ圏内を飛ぶのに30分かかると言われています。ドクターヘリが到着する時間と北見まで搬送する時間で1時間程度かと思いますが、救急体制で北見まで搬送しても1時間くらいかと思えます。

特別養護老人ホームの運営

問 特別養護老人ホームの運営について、民営化ということで検討委員会で協議され、小清水赤十字病院が候補に挙がっているようでありますが、小清水赤十字病院との協議などがありましたら伺いたいと思います。

答 13日の全員議員協議会で最終的な答申書について説明することとなっておりますが、全員協議会で説明し理解を頂ければ、正式に小清水赤十字病院にお願いに行きたいということで、非公式に院長に話をしています。現状としては、受ける受けないというところの話まではしておりませんので、理解を頂ければ速やかに行動を起こし、積極的に要請して実現できれば良いと思っています。

放課後子ども教室

問 再編後の小清水小学校の放課後対策として、放課後子ども教室の開設とありますが、現在の児童館との兼ね合いについて伺います。

答 現在、児童館では1年生から3年生までの留守家庭を対象とした児童クラブと不特定の児童を対象とした児童館業務を行っています。24年度についても、現在の児童館で業務を行います。新しく放課後子ども教室は全児童を対象としてスタートしますが、現校舎の屋体を利用し、25年度以降は、新校舎の屋体と2つの教室を利用し、児童クラブ、児童館業務、放課後子ども教室を一括して行うことで考えています。また、スクールバスについても、下校便の他に、放課後子ども教室の帰宅便として18

時に、少年団活動の帰宅便として18時50分に運行し、安全に自宅まで送りとどける環境をつくりたいと考えています。

再問 平成25年度からは広範囲な形になりますが、何名くらいを想定しているのか伺います。

答 現在、利用者の希望を取りまとめていますが、今のところ放課後子ども教室が43名、児童クラブが50名、少年団活動が35名となっています。高学年については、金管同好会を含め少年団活動を推奨していきたいと考えています。

八木 勝正 議員

防災用物資の備蓄

問 防災用物資の計画的備蓄として予算計上されていますが、具体的な計画について伺います。

答 浜小清水公民館と止別公民館に毛布、電気を使わないストーブ、懐中電灯、ラジオなどの予算を計上しました。町全体としての計画は立てていませんが、当面は年次計画で浜小清水、止別公民館を中心に整備したいと思っています。

再問 年次計画で揃えて行くことは大事ですが、町全体として何がどれだけ必要なかの計画を立てて備えていく必要があると思います。どのように考えていますか。

ケースバイケースだと思えますが、ドクターヘリと救急搬送体制の兼ね合いについて、ドクターヘリの運営も含めて伺います。

答 ドクターヘリを要請するには、救急隊員が現場で状況を確認し、状況により医師に連絡し判断をしていただいて、医師がドクターヘリを要請するという手順になっています。また、ドクターヘリは基地病院へ搬送しなければならぬ訳ではなく、発着場を備えている医療機関に搬送できます。

運営については、運航にかかる費用は国と道が負担しますので、当初の負担金は負担しますが、それ以降、町の負担はありません。困った時にドクターヘリを頼める安心感だと考えています。

答 正論だとは思いますが、今の段階でそこまで把握することは非常に難しいと思っています。例えば、1人当たり毛布が何枚必要なのか等、実際わからない部分がありますし、全町民分は必要ないと思いますので、情報を収集しながら目標を掲げ、当面は浜小清水、止別地区で困らないような方策を講じていきたいと思っています。

質問は要約されています

議会だよりでは、質問・答弁の内容を要約して掲載しております。質問・答弁の全文については紙面の都合により載せることが出来ませんが、詳しくお知りになりたい方は、小清水町議会事務局へお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

小清水町議会事務局 ☎(62)4477(直通)